



「ゼロ災 55」無災害運動推進講習会を開催



米子労働基準監督署は、「『ゼロ災』55 無災害運動」の運動期間中である 11 月 22 日に米子食品会館において、一般社団法人鳥取県労働基準協会西部支部との合同により「ゼロ災 55」無災害運動推進講習会を開催しました。

講習会は米子労働基準監督署管内で最も発生している転倒災害の防止対策をテーマに 2 部構成で行いました。第 1 部は中央労働災害防止協会中国四国安全衛生サービスセンター所長の山岡和寿氏による講演「転倒災害防止のための具体的措置について・・・今日も転ばんで～え (Day)・・・」を、第 2 部は、ミドリ安全株式会社、ミドリ安全山陰株式会社の協力を得て、転倒災害防止に効果のある安全靴の選び方についての講演及び安全靴の試着体験を行いました。



写真 1 中災防中国四国安全衛生サービスセンター所長山岡氏の講演の様子

第 1 部では山岡氏から転倒災害の防止対策について、転倒の発生する要因と、この要因を捉えて転倒防止対策をとることの重要性をたくさんの事例とわかりやすい解説でご講演いただきました。



写真2 ミドリ安全株式会社フットウェア統括部営業担当部長 川澄氏の講演の様子

第2部では、前半はミドリ安全株式会社フットウェア統括部 営業担当部長の川澄真一氏から転倒防止効果のある安全靴の選定のポイントについて説明がありました。特に安全靴の選定にあっては労働者任せにせず会社が統一して選定することの重要性を強調されていました。



写真3 安全靴を履き比べて滑りやすさの体感実験をしている様子

後半はグリセリンを塗って滑りやすくした傾斜のある鉄板に載って、転倒防止効果のある安全靴と一般に販売されている安全靴とを実際に履き比べて滑りやすさの違いを体感しました。実際に安全靴を履き比べた米子労働基準監督署の職員は、靴の違いで滑りやすさに大きな違いのあることに感心していました。



写真4 講習会受講の様子

本講習会は、製造業、建設業を中心に幅広い業種から約 70 人の方が受講されました。また、会場で行った受講者アンケートの結果、講習内容が有用であったと概ね高い評価をいただきました。

ただ、受講者定員を上回る応募をいただきましたが、会場の定員により、多数の方に出席をお断りすることになったこと、受講者におかれても窮屈な中で受講いただくことになったことなど、ご迷惑をお掛けすることもありました。関係各位にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

今後も各事業場における安全衛生活動の一助となるような有意義な講習会等の行事を企画し、米子労働基準監督署管内事業場における労働安全衛生の向上に寄与すべく努めてまいります。